

2026年1月下旬

一粒書房 新刊のご案内

日本文学・小説・物語
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1

TEL:0569-21-2130

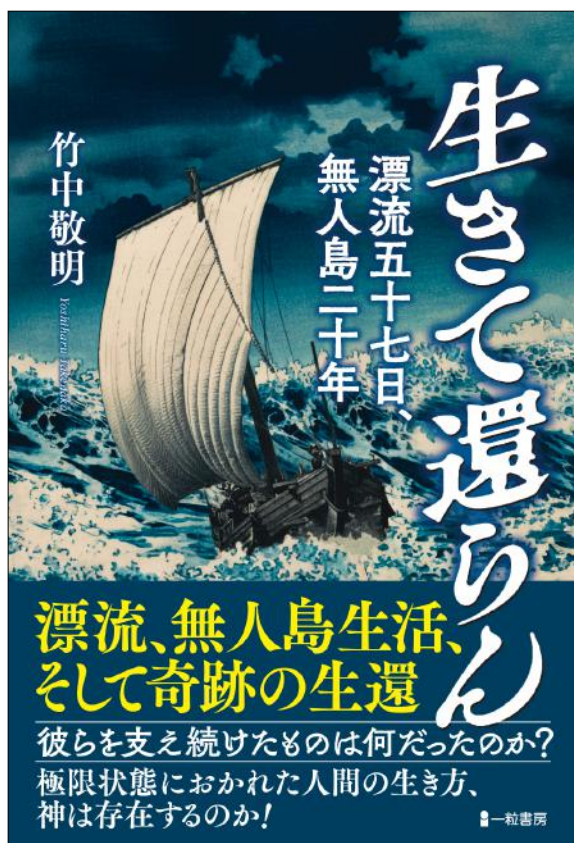
Mail: book@ichiryusha.com

生きて還らん

漂流五十七日、
無人島二十年

四六判・並製本／250頁／定価：1430円（本体1300円＋税）

竹中敬明〔著〕



【著者紹介】竹中敬明（たけなか よしはる）

1941年 岐阜県大垣市生まれ。

岐阜県立大垣北高等学校卒

岐阜県参事等歴任

●著書／「国旗・旗の基礎知識」、
「四季の年中行事と習わし」、「命の島」、
「もはや堪忍なり難く・大塩平八郎の乱」

本作品は、江戸時代に実在した海難事件で、無人島で二十年にわたって生き永らえ、奇跡的に生還した事件を題材にしたものである。

船が嵐で遭難して漂流。死の一步手前で島に漂着したが、喜んだのも束の間、島は無人島であった。

彼らは絶望の淵に陥ったが、それでも生きねばならなかった。彼らには有能な統率者がいたため、烏合の衆とはならず、統率者は、常に生きる勇気と帰還への望みを与え続けた。そして皆も創意工夫をこらして生活を営み続けた。

何より彼らは最後まで神の存在を信じ、神がいつか助けてくれることをひたすらに信じて生き続けた。

極限状態に置かれた人間の生き残りをリアルに描写した作品であり、大変に読みやすく、是非世に紹介したい作品である。

もくじより

- | | | | |
|---|---------|----|------------|
| 一 | 千石船への憧れ | 十一 | 櫛の歯が欠けるように |
| 二 | 御城米の回漕 | 十二 | 巨星墜つ |
| 三 | 穏やかな船出 | 十三 | 江戸船漂着 |
| 四 | 運命の船出 | 十四 | 決 断 |
| 五 | 荒海に舞う | 十五 | 命を懸けた船出 |
| 六 | 漂 流 | 十六 | 人の住む島 |
| 七 | 島を発見 | 十七 | 将軍吉宗の謁見 |
| 八 | 無人島上陸 | 十八 | 帰 郷 |
| 九 | 島で生きる | 十九 | 最後の一人 |
| 十 | 重大事態の発生 | | |

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数 冊	発行：一粒書房 TEL.0569-21-2130
			竹中敬明〔著〕 生きて還らん 漂流五十七日、無人島二十年 四六判・並製本／250頁 定価：1430円（本体1300円＋税）
			ISBN978-4-86743-404-8 C0093 ¥1300E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い